

情報システム用設備に関する ガイドライン説明会 ～ JEITA ITR-1001 最新情報の解説～

- 主催：情報システム用設備専門委員会
- 担当部署：インダストリ・システム部
- 参加者数：約115名

概要

近年、組織において、災害（自然・人的）、故障（インフラ）、人（過失・故意）などの想定される脅威（リスク要因）において、各脅威に対して情報設備の安定稼働を継続される予防対策と緊急対応策を決定し、情報設備に関する事業継続計画（BCP）を策定することの重要性がますます増しております。

情報システム用設備専門委員会では、「情報システムの

設備ガイド（JEITA ITR-1001B）」を基に、事業継続計画（BCP）の策定に必要な具体的な対策例を加え、JEITA ITR-1001Cを作成いたしました。

当専門委員会の馬場敬博委員長（日本アイ・ビー・エム（株））より開会挨拶がなされ、その後、JEITA ITR-1001Cの内容について、下記のプログラムにて説明が行われました。

プログラム

○開会挨拶

第1章 情報システム等の情報設備（インフラ）に対する事業継続計画（BCP）の策定

第2章 建物の環境及び構造・機能

第3章 コンピュータ室・データ等保管室

第4章 電源室

第5章 空気調和設備

第6章 サーバ室

第7章 事務室

第8章 その他

○閉会挨拶

